姫西 SSH 通信

～データ活用を生かした課題研究～　　vol.3　2023.9

勉強に部活動に課題研究に…。夏季休業に入っても西高生にはやることがいっぱいですね。
さて、今回はそんな夏季休業中に実施された校外での様々な SSH 事業を紹介します。大学での研修や、地域の方との交流事業、外部の発表会に参加し、自分たちの研究を積極的に全国に発信するチームもありました。

後期に入ると様々なコンテストの募集があります。皆さんも興味のあるコンテストには是非積極的にチャレンジしてみてください！

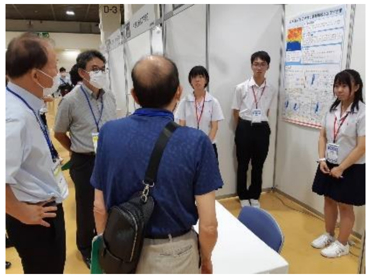
◎夏季休業中の活動

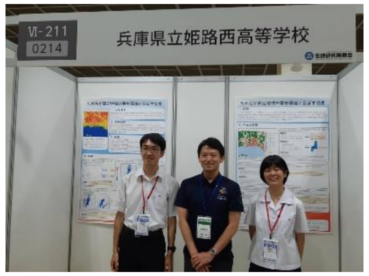
・8 月 7，8 日　1 年生国際理学科　京都大学研修

1 泊 2 日の京都大学研修を実施しました。1 日目は本校卒業生に TA としてお世話になり、課題研究のブラッシュアップを行いました。2 日目は京都大学の教授の方々や TA の皆さんの前で課題研究発表会を行い、多くの指導助言をいただきました。この研修での経験を糧に、今後の課題研究や進路実現に向け更に励んでくれることを期待しています。

・8 月 9，10 日　令和 5 年度 スーパーサイエンスハイスクール生徒研究発表会

神戸国際展示場で開催された、令和 5 年度スーパーサイエンスハイスクール生徒研究発表会に参加しました。本校からは『ため池が周辺地域の暑熱環境に及ぼす効果』 をテーマに SSH 成果発表会でもステージ発表をしていた 3 年生国際理学科の生徒 3 名がポスター発表を行いました。2 日目には齋藤元彦兵庫県知事が本校のブースを訪れてくださいました。また、1 年生国際理学科の生徒も 2 日間で 7 名見学者として参加しました。全国発表会の熱気を感じ、課題研究に対してのモチベーションを向上させることができました。



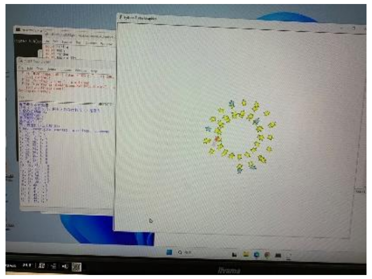


・8 月 19 日　FESTAT2023　oVice

データサイエンスの課題研究オンライン発表会 FESTAT に、2 年生国際理学科 4 チームが参加しました。発表はバーチャル空間 "oVice" を用いて行われ、参加者はアバターを作り、オンライン上で発表や質疑応答を行いました。他校生や先生方から意見をいただいたり、また他校生の発表を聞くことで、研究の進め方のヒントや今後の活動の方針を定めることができました。

・8 月 28 日　滋賀県立膳所高等学校 SSH 重点枠事業 AI・データサイエンス基礎講座

2 年生国際理学科 4 名、2 年生普通科 6 名、1 年生普通科 1 名が、京都大学で実施された滋賀県立膳所高等学校の AI・データサイエンス基礎講座に参加させていただきました。コンピュータや AI のしくみとその応用についての講義を受け、その後、Python を使ったプログラミング演習をしました。西高では学べない、新たな知識を得ることができました。



★探究活動 PICK UP!★

【夢前町でのフィールドワーク】

兵庫県立大学環境人間学部の太田尚孝教授に指導助言をいただいている『データサイエンスを用いた空き家に関する研究』に取り組む 2 年生国際理学科の生徒 5 名がいます。4 月 24 日から 6 回にわたり太田教授の研究室を訪問し、課題研究活動にご協力いただいています。
今回は 8 月 28 日に実施された夢前町周辺のフィールドワークを PICK UP します！このフィールドワークには、姫路市都市局公共建築部住宅課の坂本孝文様にもご同行いただきました。夢前スマートＩＣ、旧山之内幼稚園を活用した且緩々（しゃかんかん）、バーズタウン（開発団地）、特定空き家、はやしだ交流センター「ゆたりん」などを視察し、姫路市北部の現状を学ぶことができました。

地方創生をテーマとしているチームの中には、大学教授や市役員の方々など姫路市の様々な協力を得て研究を進めているものがあります。高校生だけでは知り得ない地域の現状や課題などを把握することができ、探究内容を深化させていく上で貴重な経験や学びになります。
どんなテーマにおいても積極的に様々な人と話す機会を設け、客観的な意見を得ることは、探究活動を進めるうえで非常に有益です。